

発行：横浜市浦舟地域ケアプラザ
住所：横浜市南区浦舟町3-46
電話：045-261-3315
FAX：045-264-1238
発行責任者：空尾 奈王子
令和6年8月1日発行 No.94号



うらふね丸

開所20周年記念 第17回 うらふね納涼祭



開催日
8/25
(日)

場所：浦舟複合福祉施設
11:00～14:30

三二地下鉄
『グリーンライン』
がやってくる！
※ 雨天中止の
可能性あり



オープニングアクト
10:30～11:00

★ 横浜CDS★ CIEL
★ 白妙囃子

楽しいワーク
ショップも！

後援：横浜市交通局 株式会社 ユタ NPO法人 フードバンク浜っ子南
東京キリンビバレッジサービス株式会社
協力：お三の宮地区民生委員児童委員協議会
寿東部地区民生委員児童委員協議会
横浜市福祉サービス協会 南介護事務所
横浜市福祉サービス協会 福祉用具センター (順不同)

食品の模擬店が
多数参加

主催 うらふね納涼祭実行委員会
最寄り駅は横浜市営地下鉄阪東橋駅です

たかもと先生の 健康Watch Out !

今回は、ニュースで取り沙汰されている「劇症型溶血性レンサ球菌感染症」についてです
「人食いバクテリア」ともいわれる劇症型溶血性レンサ球菌感染症
～気づきにくい初期症状を見逃さない！～

劇症型溶血性レンサ球菌感染症は、1987年最初に米国で報告され、日本における最初の典型的な症例は1992年に報告されております。2023年には941例の感染者。2024年5月26日までには935例の感染者が認められ年々増加しています。このうち約30%の方が亡くなっており、きわめて致死率の高い感染症です。主な病原体はA群溶血性レンサ球菌で、感染経路は飛沫や接触です。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症は、子供から大人までの年齢層に発症します。30歳以上の大人に多く60歳代以上が70%で、50歳以下が30%です。劇症型溶血性レンサ球菌感染症は、免疫不全などの重篤な基礎疾患を持っていない人でも突然発病します。

初期症状) 疼痛の開始前に、発熱、悪寒、筋肉痛、下痢のようなインフルエンザ様の症状が20%の患者にみられます。

症状) 疼痛が急激に始まり全身疼痛や通常は四肢で見られます。
咳、痰、息苦しさ、過呼吸、四肢の疼痛、腫脹、発熱、血圧低下があります。
発病から病状の進行が非常に急激かつ劇的で、発病後数十時間以内には組織壊死、急性腎不全、血管の中に血栓ができやすい播種性血管内凝固症候群、多臓器不全を引き起こし、ショック状態から死に至ります。

症状の一例) 転倒して足を打撲し、朝足の先が少し腫れている程度だったが、足がみるみるうちに真っ黒になっていき、昼ごろには膝ぐらいまで壊死が進んで症状悪化が急速に進行。

抗菌薬) ペニシリン系薬が第一選択薬です。筋肉壊死病巣を広範囲に切除します。

非常に怖い感染症ですので、この病気を理解してください。
腫れが増して高熱などの症状が出現したら、迷うことなく入院設備のある病院を緊急受診してください。

横浜市浦舟地域ケアプラザ 協力医
横浜ひまわりクリニック 高本 誠一



地域の皆様に支えられ開所20周年を向かえることができました

平成16年7月1日浦舟地域ケアプラザは開所いたしました。
7月7日(日)に浦舟地域ケアプラザ・浦舟ホーム合同の開所
20周年記念式典が行われました。
いままで以上に職員一同地域のお役に立てるよう頑張ります。
これからもどうぞよろしくお願いいたします。



猛暑の中、式典に足を運んでくださった地域の方々と笑顔でパシャリ♪



ボランティアの感謝状を受け取る下野さん(左) 川井さん(右)



胸躍るような演奏を披露したお囃子にしろのみなさん



いつもありがとうございます！